

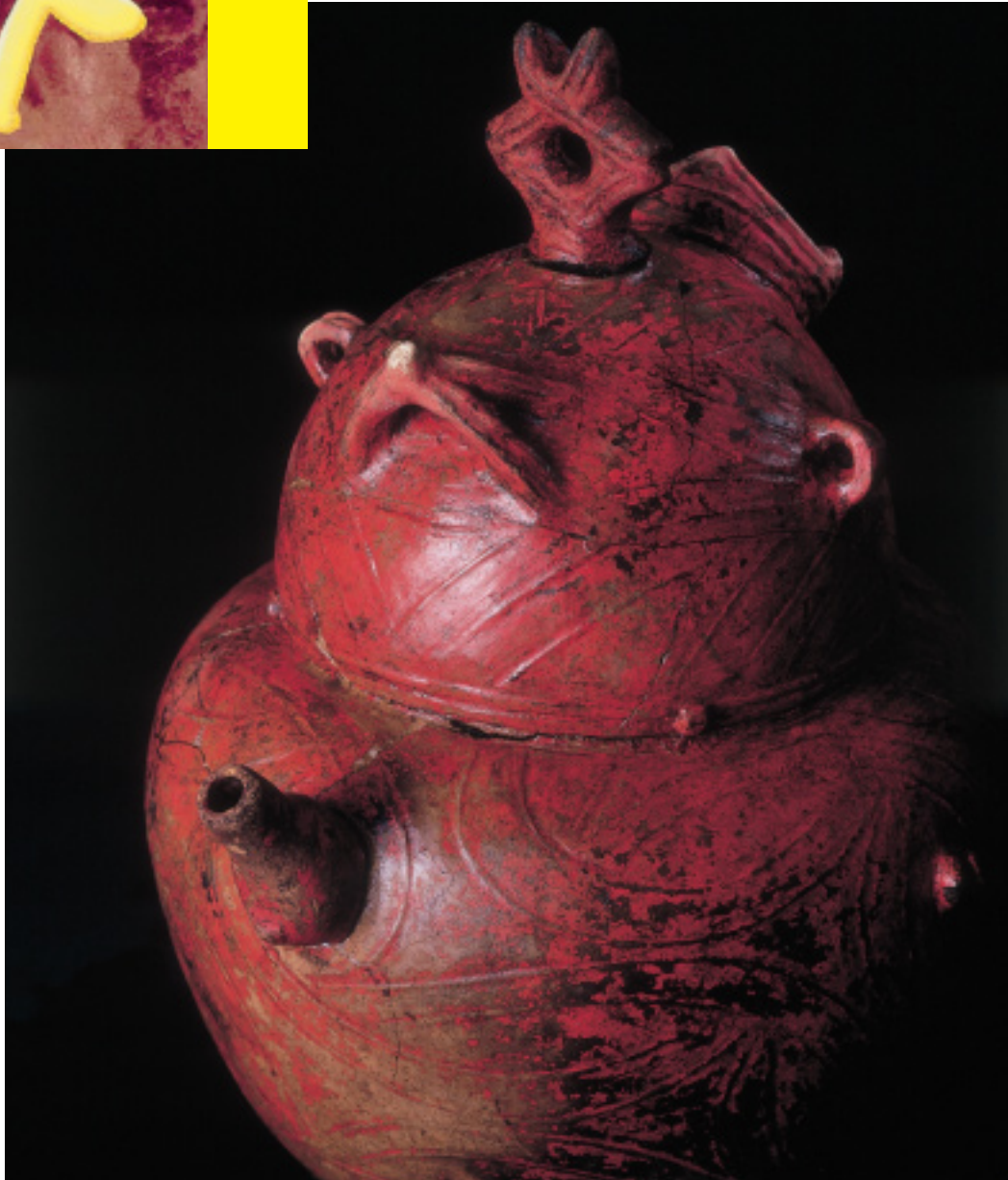


# [teeta]



## 「テエタ」

「テエタ」はアイヌ語で“昔”を意味します。北の大地で繰り広げられた昔の人々の文化や環境を、現在と未来の人々に伝えるのが私たちの仕事です。昔のこと、古いことを広く知ってほしいという願いを込めて「テエタ」をこの冊子のタイトルにしました。



八雲町野田生1遺跡出土の赤彩土器（縄文時代後期）

|                     |   |
|---------------------|---|
| 平成14年度の発掘調査概要       | 2 |
| 森町森川3遺跡から検出された畑跡    | 3 |
| 厚真町浜厚真3遺跡のTピット群     | 4 |
| 根室市穂香竪穴群の竪穴住居跡      | 5 |
| 表紙解説                | 5 |
| 森町石倉1遺跡             | 6 |
| 鶴川町米原4遺跡            | 6 |
| 平成14年度発掘調査遺跡一覧      | 6 |
| 平成15年度発掘調査予定遺跡一覧    | 7 |
| 森町倉知川右岸遺跡出土の「石冠様石器」 | 8 |

平成14年度の発掘調査概要

今年度は道内8市町村に所在する16遺跡で発掘調査を実施しました。以下、顕著な遺構、遺物について時代、時期順に紹介します。

旧石器時代：オルイカ2遺跡から札滑型細石刃核、彫刻刀形石器、搔器などが出土しました。

縄文時代早期：浜厚真3遺跡では、少量ですが東釧路式土器が検出されました。

前期：西島松5遺跡には、縄文尖底土器（静内中野式）の良好な資料があります。森川3遺跡では、円筒土器下層式の時期の竪穴住居跡、土壌群がありました。中期：濁川左岸遺跡では、サイベ沢式土器、見晴町式土器の時期の竪穴住居跡、土壌等とともに多量の遺物が検出されています。穂香竪穴群では、中期末～後期初頭の竪穴住居跡、土壌、盛土、焼土等がありました。浜厚真3遺跡では、Tピットが173基検出されました。後期：倉知川右岸遺跡では、竪穴住居跡、石組み炉、配石遺構、フラスコ状ピット、柱穴状ピット、土壌、焼土などの集中域が検出されました。土器囲い炉は、宮戸4遺跡、オルイカ1遺跡で検出されています。西島松5遺跡では50万点ほどの遺物が出土していますが、そのうちの9割以上は後期後葉～晩期初頭のものです。土偶、耳栓、土玉などの土製品が数多く見つかっています。

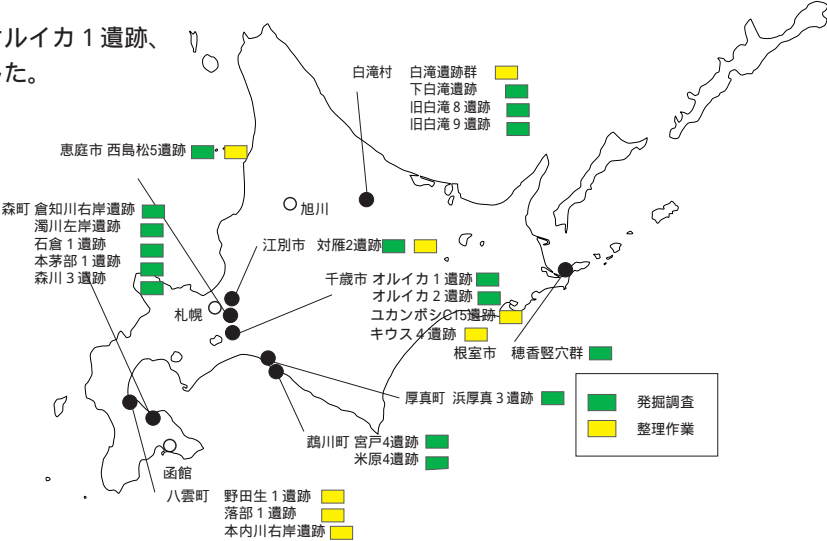
晩期：対雁2遺跡からは土壌、焼土、集石等が検出されました。

擦文時代：竪穴住居跡が検出されたのは西島松5遺跡、穂香竪穴群です。

アイヌ文化期：平地住居跡がオルイカ1遺跡、オルイカ2遺跡で検出されました。

北海道史略年表

| 本州の時代区分 | 年代(西暦)    | 北海道の時代区分         | H14調査遺跡のおもな時期   |
|---------|-----------|------------------|---|
| 明治～平成   | A.D.1900  | (近代・現代)          |   |
| 江戸時代    | A.D.1600  | 近世<br>アイヌ文化期     | オルイカ1<br>オルイカ2<br>森川3   |
| 室町時代    | A.D.1300  |                  |   |
| 鎌倉時代    | A.D.1200  | 擦文時代<br>オホーツク文化期 | 穂香竪穴群<br>宮戸4<br>西島松5  |
| 平安時代    | A.D.800   |                  |   |
| 奈良時代    | A.D.600   |                  |   |
| 古墳時代    | A.D.600   | 続縄文時代            | 石倉1<br>旧白滝8   |
| 弥生時代    | A.D.400   |                  |   |
| 縄文時代    | B.C.300   | 晩期               | 穂香竪穴群<br>対雁2<br>オルイカ1<br>オルイカ2  |
|         | B.C.1000  | 後期               | 西島松5<br>西島松5<br>倉知川右岸<br>濁川左岸<br>宮戸4<br>オルイカ1                                       |
|         | B.C.2000  | 中期               | 浜厚真3<br>下白滝<br>穂香竪穴群<br>宮戸4<br>米原4<br>オルイカ2<br>西島松5<br>本茅部1<br>濁川左岸<br>倉知川右岸<br>森川3 |
|         | B.C.3000  | 前期               | 宮戸4<br>西島松5   |
|         | B.C.4000  | 早期               | 宮戸4<br>浜厚真3<br>穂香竪穴群  |
|         | B.C.8000  |                  |   |
| 旧石器時代   | B.C.20000 | 旧石器時代            | オルイカ2<br>白滝遺跡群  |



**森町森川3遺跡から検出された畑跡**

遺跡は、海から2kmほど内陸に入った森川の河岸段丘上にあります。標高95m前後のほぼ平坦な遺跡です。段丘下には森川4遺跡があり、北西に数十m離れたところに遺跡の名前の由来となった森川が流れています。対岸には森川2遺跡、さらに小河川を挟んで上台1遺跡と続いています。

縄文時代前期～中期の遺構が多く、竪穴住居跡5軒、土壌43基、焼土7カ所（1カ所は石組み炉）、小ピット16カ所が主に段丘の縁辺で見つかっています。遺物も遺構の周辺に多く、コンテナにして160箱分が出土しました。

また、中～近世の畑跡が見つかって注目されました。

畑跡は、1640年に降った駒ヶ岳d火山灰に覆われて遺跡のほぼ全面に広がっていました。10世紀頃に降ったとされる白頭山-苫小牧火山灰（B-Tm）の層まで土を溝状に掘り込んで、その土を上に乗せて畝としていたものが多く見つかりました。そのことから白頭山-苫小牧火山灰より新しい畑が多いということが判ります。また、江戸期以前であることも明らかです。

溝と溝の間は90cmから1mぐらいでした。畑は作物を作る場ですから、溝よりも畝の部分が大切で、溝は正確には畝間という方が良いかも知れません。この畑からは多くの炭と、焼土が6カ所が見つかっています。畑が使われていた正確な年代を知るために<sup>14</sup>C年代測定法で5カ所の炭を測ってみました。今からおよそ700年前、1000年前、2000年前、2500年前のものという結果が出ました。これだと半分は縄文の畑になってしまうのですが、おそらく下の古い土の層を掘り起こして畑を作ったためにこのような結果が出たのだと思います。今回の調査では畑を作った人々の集落や作業小屋の跡、また道跡などは見つかっていませんが、平成15年度の発掘調査でも引き続き調査する予定ですので、今度は見つかるのを楽しみにしています。

なお、畑跡からは鉄製品が1点出土しています。



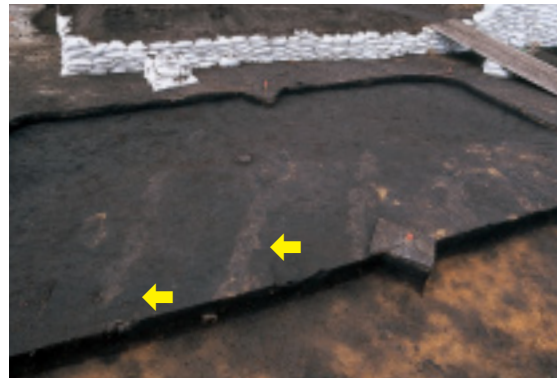
森川から見た森川3遺跡



畑跡の調査風景 横向きの筋が畝と畝間



火山灰を切って溝が掘られている様子



農具の痕？（矢印部分）

厚真町浜厚真3遺跡のTピット群

遺跡は、胆振地方の東部、厚真町の浜厚真地区にあります。今回の発掘調査によって、173基のTピットが発見されました（写真1）。Tピットとは、縄文時代のエゾシカ猟に使われた落とし穴と考えられている遺構です。胆振地方の東部は、日高地方に次いでTピットの多い地域ですが、173基がまとまって発見されたのは初めてです。Tピットにはいくつかの形がみられ、長さ2・3mの溝のようなものや（2）幅の広いものがあり（3・4）穴の底に杭のあとが見つかることもあります（7・8）。

遺跡は、エゾシカをとるためには絶好の場所にあったようで、Tピットどうしが重なりあって見つかるものや（5）古いものを埋め戻して（6）その横に新しいものが作られることもあり、何年にもわたって利用されていたようです。明治以前の北海道では、秋の終わり頃になるとエゾシカの群れが、雪の少ない胆振地方、日高地方の太平洋側に移動していたと言われています。これらの地方でTピットが多いのは、こうしたエゾシカの動きに関係しているのかもしれませんが。



（1）遺跡遠景



（2）TP38



（3）TP100



（4）TP99の土層断面



（5）TP56・78



（6）TP74の確認状況



（7）TP170



（8）TP170の杭跡断面

### 根室市穂香竪穴群の竪穴住居跡

根室市は北海道東端の根室半島に位置しています。根室市内の遺跡の数は約300ヵ所と非常に多く、広い北海道内でも最も遺跡の多い場所のひとつです。

穂香竪穴群（ほにおいたてあなぐん）は根室市街地の南西側に位置し、海に面するやや高い台地の上にあります。眺めが良く、晴れの時は北方領土である国後島を間近に見ることができ、日本列島の東のはしにいたことが実感できます。

普通、遺跡の名は“ 遺跡 ” というように呼ばれているのですが、この遺跡は“ 穂香遺跡 ” ではなく、“ 穂香竪穴群 ” という名前がつけられています。その訳は、かつてここに住んでいた人々が作った半地下式の住居（竪穴住居）が、埋まりきらずにくぼみとして何個も残っていたからです。そのため、竪穴住居跡のくぼみが群になっている遺跡ということで“ 穂香竪穴群 ” と名付けられました。本州方面の竪穴住居は長い年月と共に完全に埋まりきってしまい、地表から確認することは難しいのですが、道東地方は特に厳しい寒さのため土砂の動きが少なく、そのため完全に埋まりきらずにくぼみとして残っているのです。

発掘調査の結果、深くくぼみは擦文時代（ほぼ本州の奈良～平安時代に相当）後半の竪穴住居跡、浅いくぼみは縄文時代中期～後期（今から約4,000年前）の“ 北筒式土器 ” を使っていた人々の竪穴住居跡であることがわかりました。擦文時代の人々の家は上から見ると四角い形をしています。これは同時期の本州の家と同じ形であることから、本州の家の影響を受けたと考えられます。一方縄文時代の家は楕円形や楕円形と丸を組み合わせたような形をしています。

このように、発掘しなくても昔の人々が住んでいた家の跡がわかるというのは、冷涼である北海道特有の気候がもたらしたものであり、いかにも北海道らしい遺跡といえるでしょう。



現在地表面から確認できる竪穴住居跡のくぼみ



発掘された竪穴住居跡（左の写真のくぼみを掘ったもの）

### 表紙解説

赤彩土器は八雲町野田生1遺跡の竪穴住居跡床面よりほぼ完形の状態で出土しました。注口土器を基本にしたダルマ形で、器高が26cm、最大幅22cmあります。水銀朱による赤い彩色は器面全体に施され、「微隆起線」という手法による弧線文とボタン状の瘤とを組み合わせた文様も見られます。これらの特徴から縄文時代後期後半のものと考えられます。



[teeta]

**森町 石倉1遺跡**

遺跡は、森町市街地から北西へ9 km、濁川の支流である無名沢の左岸段丘上にあります。北東向きの緩斜面で標高は38～43mです。平成14年度の調査では、縄文時代後期のものと思われる土壌が2基検出されました。出土した土器は、縄文時代中期から後期のものが多く、石器は石鏃、スクレイパー、石核などの剥片石器のほか、たたき石などの礫石器が多いのが特徴です。また、続縄文時代の土器が1個体まとまって出土しました。

写真は遺跡の調査風景です。湧き水が多く、排水しながらの作業でした。調査は平成15年度以降も継続される予定です。



調査状況

**鶴川町 米原4遺跡**

遺跡は、鶴川の支流の一つ、イモツペ川の右岸に位置しています。対岸には前号で紹介した宮戸4遺跡があります。発掘調査は平成12年度にも行われており、縄文時代中期後半の竪穴住居跡5軒などが見つっています。今回の調査では、土坑2基、落とし穴1基、焼土9カ所、集石1カ所が新たに発見、いずれも縄文時代中期後半から後期の初め頃の遺構とみられます。遺物は約7,500点出土しています。土器は前回の調査と同様に、縄文時代中期後半のものが多く、石器では石鏃や石槍・ナイフ、石斧などがみられます。



包含層調査状況

**平成14年度発掘調査遺跡一覧**

| 委託者          | 原因工事                            | 遺跡名                 | 所在地     | 実施面積   | 摘要             |                    |
|--------------|---------------------------------|---------------------|---------|--------|----------------|--------------------|
| 国土交通省北海道開発局  | 札幌開発建設部<br>一般国道337号千歳市新千歳空港開通工事 | オレイカ1               | 千歳市     | 5,460  | 縄文時代後・晩期の遺物包含地 |                    |
|              |                                 | オレイカ2               |         | 3,230  | 縄文時代後・晩期の遺物包含地 |                    |
|              | 室蘭開発建設部                         | 日高自動車道厚真～門別工事       | 厚真 真 3  | 厚真町    | 3,390          | 縄文時代早期の遺物包含地       |
|              |                                 |                     | 宮戸 4    | 鶴川町    | 4,550          | 縄文時代～縄文時代の遺物包含地    |
|              |                                 |                     | 米原 4    | 鶴川町    | 975            | 縄文時代中期後葉の集落跡       |
|              | 釧路開発建設部                         | 一般国道44号根室市根室道路工事    | 樺香 竪穴 群 | 根室市    | 7,150          | 縄文時代の集落跡           |
|              | 網走開発建設部                         | 一般国道450号白滝村白滝道路改良工事 | 旧白滝 9   | 白滝村    | 3,380          | 旧石器時代～縄文時代の遺物包含地   |
|              |                                 |                     | 旧白滝 8   | 白滝村    | 2,250          |                    |
|              |                                 |                     | 白滝遺跡 群  | 白滝村    | 2,610          |                    |
|              | 石狩川開発建設部                        | 石狩川改修工事の内対岸築堤工事     | 対 雁 2   | 江別市    | 3,450          | 縄文時代晩期～続縄文時代の遺物包含地 |
| 国土交通省北海道開発局計 |                                 |                     |         | 36,445 |                |                    |

| 委託者    | 原因工事                   | 遺跡名            | 所在地     | 実施面積   | 摘要                        |       |
|--------|------------------------|----------------|---------|--------|---------------------------|-------|
| 日本道路公団 | 北海道支社<br>北海道縦貫自動車道建設工事 | 濁川左岸           | 森町      | 3,630  | 縄文時代中期・後期の集落跡             |       |
|        |                        | 本茅部 1          |         | 2,200  | 縄文時代中期の集落跡                |       |
|        |                        | 倉知川右岸          |         | 9,350  | 縄文時代中期・後期の集落跡             |       |
|        |                        | 森川 3           |         | 2,200  | 縄文時代前期の集落跡                |       |
|        |                        | 石倉 1           |         | 1,753  | 縄文時代中期・後期の集落跡             |       |
|        | 北海道支社<br>北海道横断自動車道建設工事 | 野田生1ほか         | 八雲町     | 整理作業   | 野田生1・落部1・本内川右岸遺跡の遺物の整理・報告 |       |
|        |                        | キウス 4          | 千歳市     | 整理作業   | H10年調査分の盛土と低地部分の遺物の整理・報告  |       |
|        |                        | コウマシC15        | 千歳市     | 整理作業   | H8～10年調査の低地の遺物の整理・報告      |       |
|        |                        | 日本道路公団計        |         |        | 19,133                    |       |
|        |                        | 北海道<br>札幌土木現業所 | 柏木川改修工事 | 西島松 5  | 恵庭市                       | 2,690 |
| 西島松 5他 |                        |                |         | 整理作業   | H13年調査分の西島松5・9遺跡の遺物の整理・報告 |       |
| 北海道計   |                        |                |         | 2,690  |                           |       |
| 合計     |                        |                |         | 58,268 |                           |       |



平成15年度発掘調査予定遺跡一覧

| 委託者         | 原因工事         | 遺跡名                                 | 所在地     | 調査面積   | 摘要     |                         |
|-------------|--------------|-------------------------------------|---------|--------|--------|-------------------------|
| 国土交通省北海道開発局 | 札幌開発建設部      | 一般国道337号千歳市新千歳空港関連工事                | オリイカ 1  | 千歳市    | 1,600  | 縄文時代後・晩期の遺物包含地          |
|             |              |                                     | キウス 5   |        | 5,000  | 縄文時代前・中・後・晩期の遺物包含地      |
|             |              |                                     | チブニー 2  |        | 2,000  | 縄文時代早・中・後・晩期、擦文時代の遺物包含地 |
|             | 函館開発建設部      | 函館江差自動車道建設工事<br>一般国道278号鹿部道路工事      | 館野      | 上磯町    | 8,300  | 縄文時代中期～後期の遺物包含地         |
|             |              |                                     | 大岩 5    | 鹿部町    | 1,800  | 縄文時代後期の遺物包含地            |
|             | 室蘭開発建設部      | 日高自動車道厚真～門別工事<br>一般国道36号登別市登別市街拡幅工事 | 宮戸 4    | 鶴川町    | 3,800  | 縄文時代早・前期～中期の遺物包含地       |
|             |              |                                     | 米原 4    |        | 600    | 縄文時代早・前期～中期の遺物包含地       |
|             | 釧路開発建設部      | 一般国道44号根室市根室道路工事                    | 穂香 竪穴 群 | 根室市    | 900    | 縄文時代早期・中期の集落跡           |
|             | 網走開発建設部      | 一般国道450号白滝丸瀬布道路改良工事                 | 中島      | 丸瀬布町   | 1,900  | 旧石器時代～縄文時代の遺物包含地        |
|             |              |                                     | 旧白滝 8   | 白滝村    | 1,040  |                         |
|             |              |                                     | 旧白滝 5   |        | 6,600  |                         |
|             |              |                                     | 白滝遺跡 群  |        | 整理作業   |                         |
|             | 石狩川開発建設部     | 石狩川改修対雁築堤工事                         | 対雁 2    | 江別市    | 2,200  | 縄文時代晩期～続縄文時代の遺物包含地      |
|             | 国土交通省北海道開発局計 |                                     |         |        | 38,840 |                         |
| 日本道路公団      | 北海道支社        | 北海道縦貫自動車道建設工事                       | 石倉 4    | 森町     | 1,852  | 縄文時代後期の集落跡              |
|             |              |                                     | 石倉 3    |        | 3,860  | 縄文時代中期～後期の集落跡           |
|             |              |                                     | 石倉 2    |        | 3,614  | 縄文時代中期～晩期の集落跡           |
|             |              |                                     | 石倉 1    |        | 2,648  | 縄文時代中期・後期の集落跡           |
|             |              |                                     | 本茅部 1   |        | 625    | 縄文時代前期・中期の集落跡           |
|             |              |                                     | 上台 2    |        | 8,250  | 縄文時代中期～後期の集落跡           |
|             |              |                                     | 上台 1    |        | 2,580  | 縄文時代後期の集落跡              |
|             |              |                                     | 森川 4    |        | 810    | 縄文時代中期～後期の集落跡           |
|             |              |                                     | 森川 3    |        | 4,277  | 縄文時代前期の集落跡              |
|             |              |                                     | 濁川左岸ほか  |        | 整理作業   |                         |
|             | 日本道路公団計      |                                     |         |        | 28,516 |                         |
| 北海道         | 札幌土木現業所      | 柏木川改修工事                             | 柏木川 13  | 恵庭市    | 3,200  | 縄文時代中期～晩期の集落跡           |
|             |              |                                     | 西島松 5   |        | 2,597  | 縄文時代早期～擦文時代の集落跡、墓地      |
|             |              |                                     | 西島松 3   |        | 1,500  | 縄文時代中期～後期の集落跡           |
|             |              |                                     | 西島松 5ほか |        | 整理作業   | 縄文時代早期～擦文時代の集落跡、墓地      |
|             | 北海道計         |                                     |         |        | 7,297  |                         |
| 合計          |              |                                     |         | 74,653 |        |                         |

### 森町倉知川右岸遺跡出土の「石冠様石器」

遺跡は、噴火湾沿岸の森町にあります。時代は縄文時代中期～後期が中心です。北海道縦貫自動車道の建設に伴い、今年度発掘調査を行いました。

写真は、出土した遺物のひとつ、「石冠様石器」です。縄文時代中期の竪穴住居跡の中に堆積した土から出土しました。緑色の石を材料にして、丁寧に磨いて作られています。長さは約14cmで、アイロンに似た形をしています。上のほうは山の稜線のように尖らせてあり、先端の尖った部分（写真左）には鉢巻のような段が、反対側の平らな部分（写真右）には浅いくぼみと小さな突起が作られています。

「石冠様石器」という名前は、形が「冠」に似ていることから名づけられました。用途についてははっきりしませんが、ひとつの石に男性原理と女性原理の両方を表現していると考えられていることから、日常的に使う実用品ではなく、祈願することや供養することなどの精神的な行動に関係する可能性があります。

倉知川右岸遺跡から出土した「石冠様石器」の場合は、山の稜線のような部分、あるいは鉢巻状の段のある尖った部分が男性を、浅いくぼみの部分が女性を象徴していると考えられます。

この「石冠様石器」は発掘調査成果展で展示しています。ぜひ実物を見に来てください！（大泰司・柳瀬）

平成14年度発掘調査成果展は、平成15年3月27日（木）から6月1日（日）まで、北海道立埋蔵文化財センターで開催しています。



「石冠様石器」出土状況



#### 交通案内

- ・JR大麻駅から、徒歩約20分
- ・新さっぽろバスターミナル発
  - ・JRバス・夕鉄バス（文教通西循環線・文京台南町行）に乗車「くりの木公園前」下車、徒歩5分
  - ・JRバス・夕鉄バス（江別方面行き）に乗車「道浅井学園大札学院大前」下車、徒歩15分